

Q 冬期の朝、当社の従業員が駐車場から事務室まで向かう途中、凍結した路面上で滑って転倒し、骨折しました。

A 冬期は路面の凍結や積雪により転倒災害が増える時期です。特に、令和7年の限内の休業4日以上の転倒災害は前年同期比プラス38%（10月末時点）と大きく増加しています。

STOP! 冬期の転倒災害

左記を参考に、転倒災害防止対策を講じてください。

- ①実施体制の整備
転倒災害防止の取り組みを推進する担当者（安全管理者、安全推進員等）を指名すること。
- ②通路などの対策
降雪した通路は除雪し、凍結した通路は融雪剤などを散布するなど、安全通路を確保すること。滑りにくい靴の使用など。
- ③気象条件の把握など
積雪・凍結状況を把握し、早めに労働者に周知し、通路など対策を講じてください。

④高齢労働者における転倒防止対策
身体機能の低下を補う設備の導入、ストレッチ・運動など身体機能の維持向上への取り組みなど、高齢労働者の特性に配慮した対策を講じること。これらが対策のポイントです。社内の安全衛生委員会等を通じて取り組みの推進をお願いします。

◇冬期の転倒災害防止についての詳細は、左のQRコードから得られるリーフレットを参考としてください。

鳥取労働局労働基準部健康安全課
電話 0857 (29) 1704